



発行所 アシュラムセンター
523-0894 近江八幡市中村町 567-2
Tel 0748-33-4030
Fax 0748-33-8856

アシュラムセンターホームページ
www.ashramcenter.jp

編集 アシュラム誌編集委員会

振替 01050-6-53772
アシュラムセンター

印刷 明文舎印刷商事(株)

解題

アシュラムとはインドの言葉で「退修」という意味で、スタンレー・ジョーンズ博士によって日本に紹介されたものであります。祈りの生活をもってみ前に自らを整え、今日に於ける主のご委託にこたえんというのがその願いです。

主の語られるたとえ話は、ほんとうに多岐に及んでいる。例えば「種蒔く人」に代表される「農」に関わるたとえ話、商いを生業にしているものには馴染みのあるムナのとえ、またその当時最も話題になっていたであろうニュース「シロアムの塔が倒れて死んだ十八人」(ルカ13・4)を用いたたとえまで、その幅は大変広い。このたとえ話の解説書だけで何冊も本が出版されるぐらいである。もちろんこれら全てのたとえ話を主ご自身が、直接体験され語ったものであるとするには無理があるろう。しかし、その時代の中で、いわゆる「地の民(アムハアレッツ)」と呼ばれた民衆にとつて、このイエスのたとえほど身近で馴染みのあるものはなかったに違いない。

虎の子の銀貨10枚のうち、一枚を無くした女のたとえ、これは「失われた一匹の羊」そして「放蕩息子」のたとえ話とともに、並べられている。「3つの神の憐れみ」ともいわれる、この有名なたとえは、いわゆる

瞑想

一人の罪人が悔い改めれば、
神の天使たちの間に喜びがある。

ルカ15・10

主幹牧師 榎本 恵

るさまよい出たもの、失われたもの、遠くへ行ってしまったものが、再び復帰することの喜びと、それらの方の愛の深さを、私たちに教えてくれる。

九十九匹の羊を野に置き去りにし、失われた一匹を探し求める羊飼いの1ドラクメ銀貨という、おそらくとへの感動と喜びもつかの間、私たちは時とともに、これらのたとえを、素直な気持ちで読むことができない、ムクムクと心の中に様々な疑問が湧き上がってくるのだ。果たして99匹の従順な羊よりも、そんなに迷い出た羊の方が大切なのだろうか。また、たった1ドラクメ(当時の労働

ぶこと」ほど難しいことはない。「あの人のところは、家族みんなが救われたのに、どうしてウチは」「あすこの教会だけ、どうしてあなたに信者が集まるのかしら」「日本人はいつまでたってもキリスト教人口が1%のまま、この国の宣教は無駄なのではないか」「そんな私たちの心の声が聞こえてくる。けれども神は、この迷い出た1匹の救いを、無くしていた一枚の銀貨の発見を、そして裏切り者のどうしようもないものの帰還を、私たちが驚き怪しむほどの大きさを持つて喜んでくださるのだ。「一人の罪人が悔い改めれば、神の天使たちの間に喜びがある。」(ルカ15・10)

友よ、心配はいらない。神はこの喜べず、拗ねながら家の外で立っているような私のものにも来られ、こう言われるのだから。「子よ、お前はいつもわたしと一緒にいる。私のものは全部あなたのものだ」(ルカ15・31)と。さあ、一緒に家の中に入ろうよ。

ます。しかし、ヤコブ書にあるように、ことばを制することは人間にとつて、とてもむづかしいことです。「舌を制御出来る人は一人もいません」と記されていますので、言葉をコントロール出来ないのは自分だけではないと、少し安心します。塩で味付けされた快いことばを語ることが出来るお方は唯一、イエスさまだけだと思います。私たちはこのお方との日々のお交わりで、塩味のきいたみこ



安仲 萌子
塩沢 ふさ子
伊達 平和
榎本 光太
鹿見島 遼子
アシユラム 要
大澤 すみえ
吉田 千代子
加々美 康子
米田 歌子
米田 都子
野波 志哲
和木 康子
榎本 池田
池田 会
チャイムの会
(チャイム
コンサート)
壺大派
キリスト教会
幹二
尾崎 良子
尾崎 恵子
鹿屋 順子
キリスト教会
井澤 71口
¥719,550

新潟アシユラムのめぐみ

巻口 秀子

主題聖句「人に従うよりも、神に従わなくてはなりません。」

第43回新潟アシユラムは9月1日、2日、新潟市郊外のメイワサンピアで持たれま

とばをいただきながらみそばを歩ませていただき、少しでもイエスさまのみこころに叶う

した。榎本師より、神について知るのではなく神を知り、祈りの中で、主よ、あなたはどなたですか、と祈り問い続けていく事の大切さ、心にとまった御言葉、どうして心に残る

言葉や行いを発する者でありたいと願います。

私は、アシユラムを通して、日々のイエスさまとの交わりの楽しさや、イエスさまに根ざした生活の豊かさを教えていただきました。このアシユラムの輪がクリスチャンの間に拡がっていくことを心から願っている者です。日本のリバイバルはここからしか生まれたいと思っています。

(福岡新生
キリスト教会)

のか、本当の意味は何か、問いつづけていきましょう。とおすすめていただき、使徒3、4、5章を四つのファミリーに分かれ、静聴いたしました。不思議です、同じ箇所を静聴しても、みんな違う。ひとりひとりが御声を聴いて恵みを分かち合う時、同感したり、気



榎本 保部 敬節
百天 40周年
記念 会
記 念 会
前西 政恵
廣石 聡子
俄間 順子
杵安 萌子
安仲 一隆
鈴木 要
榎本 恵
榎本 千博
荒木 9口
¥73,000
ヨセフ基金
吉田 すみえ
ちいろば
アツちゃん・
シユラム君 2口
¥5,000
会 堂 改 築
鎌田 連明 1口
合 計
83口
¥802,550
感謝いたします

づきを与えられたり、ファミリーの交わりの中に、主が共におられるので、喜びが、賛美が倍增されていくのです。これはアシユラムに参加してみないとわからない体験です。一度味わうと、その中に私も入れて下さいます、と静かな環境の中で、日常生活を離れ、主と共に過ごす、まさに祝福のシャワータイムです。アシユラム大

好き……。一度味わうと、かつてテレビでお菓子のコマージュ、やめられない、とまらない——アシユラムです。神を知ること、その前に神様が地球上の人間の中で、砂粒のような私を知って下さる(詩篇139篇)とは、驚きと感謝で一杯です。

また、先生のお父様(榎本保郎師)が、ロスアンゼルスへ旅立つ前にアシユラム誌に書かれ、絶筆となった瞑想「新しく生まれなければ」を目にすることが出来て、その内容が自分に死ぬとはどういう事か、まさに今回、私が参加させていただいたアシユラムは、神のご計画と知りました。感謝。

榎本先生はじめ尊い労を取って下さいました兄弟姉の皆さま、ありがとうございました。

(日本伝道福音教団
新潟聖書教会)

童子ケ沢河辺アシラム11年を感謝して

単立 由利本荘教会 小林 錦

イエスは主です！

童子ケ沢河辺アシラム第11回(1,2回は「童子ケ沢アシラム」最終回は「河辺一日アシラム」を終了し、同時に村瀬俊夫師のご奉仕による11年間のアシラムを感謝のうちに終了いたしました。

村瀬先生は少し体調を崩しておられたにもかかわらず、いつもの力強いお声でメッセージをされご奉仕を終えてくださいました。

ご高齢の村瀬師のご負担の大きさとともに事務局である私共の老化による奉仕能力の低下が、この度の終了の一番大きな原因です。(会場の「河辺・家の教会」が、秋田の軽井沢のような風情で秋田市郊外の森の中にあるだけに、参加者の送迎が一番大変なことでした。)

11年間、たくさんの方々が参加して下さいました。初めてアシラムに出会った方々が多く、軽井沢の風情を楽しみながら主の前に一人静まって主とお出会ひするこの恵みの時を、新鮮な驚きと感動をもって喜んで下さいました。

「こんな時間を今まで持ったことがなかった。」という言葉を何回も聞きました。「教会では教えられないことが多い」「自分の生活の中では一時間半も無言で聖書に聴き続けたことはなかった。」と。

一人ひとり御前に深く静まって、「私一人」への主の語りかけに出会った喜びをそれぞれ手にされたのだと思います。

「河辺・家の教会」を会場としてアシラムは、メンバーの願いによって、「ミニ・アシ



ラム」としてこれからも続けて参ります。奉仕の先生はおりませんが、隔月(雪の一月を除く)奇数月の最終火曜日2:00~4:00に主の前に集い、静まってみ声を聴き、恵みを分かち合っています。

11年間の村瀬師とのお別れを惜しみながら、信仰生活を支え新しくする為に、アシラムが必要で、大切なものであることを改めて確認いたしました。

秋田のアシラムのために、みなさまのお祈りによるご支援を、心からお願ひいたします。

竹は節で成長する

日本ナザレン教団 出雲教会 岡田民代

第41回山陰アシラム(10月2~3)に5回目の参加をしました。以前から思っていた悩みを一つもって。充滿の時に榎本恵先生が主の御言葉を語ってくださいました。

あなたはどこに立っていますか? 現実を見る時、現実を変えてほしいと思ったりします。神の約束を信じる時、本当に素晴らしいことは、今ここにもう既に神の国があることに目が開かれます。(私は自分を小さくしたいと思っています。)

ニコデモは、新しく生まれることは小さくなることととらえています。死ぬことなしに新しく生まれることが必要です。死ななければ神の栄光を見ることはできません。あなたは死んでいますか? つまり明日のことを思い煩わない。文句を言わないことです。イエスは言われた。「はつきり言うておく。人は新たに生まれなければ、神の国を見ることはできない。」(ヨハネ3章3節)

霊の目を開かれ、自己と自我を十字架の上に磔殺することができました。人生の節目は縮む時ではない。イネ科の竹の木は(アジアにのみあり)節から伸びるとの事。栄光在天。

主題聖句「神の国は、実にあなたがたのただ中にあるのだ。」(ルカ17章21節) ハレルヤ。



アシュラム修道場生活記

その10

「寛容」



伊達 平和

筆者が中学生のころ、「ポケットモンスター」というゲームが流行っていた。ゲームについてよく知らない方でも一度は耳にしたことがあるこのゲーム。「モンスターボール」というカプセル型の容器に道端で捕まえたモンスターを幽閉し、育成し、「わざ」を修得させ、仲間を増やして敵を倒し、次の町へと旅をするという内容である（なおモンスターを捕まえたときには「○○ゲットだぜ!」という事になっている）。

このモンスターには、例えば「でんきタイプ」などの属性が備わっており、最も有名なモンスター「ピカチュウ」はこの「でんきタイプ」である。名前の由来は電気（ピカッ!）ねずみ（チュウ）である。基本的に習得するわざは電気系なので、水系や地面系のわざを覚えることは稀である。しかし、私はポケットモンスター関連イベントに参加し、「なみのり」という水系のわざを使える特別なピカチュウ、「なみのりピカチュウ」を「ゲットだぜ!」した。当時、ポケモン狂だった筆者はこのピカチュウに並々ならぬ愛情を注いでいた。

しかし、なみのりピカチュウとの別れは突然きた。妹がゲームを勝手に「リセット」し、データが消えてしまったのだ。その時なんと叫んだか全く覚えていないが、烈火の如く怒った。絶望した。もうなにもしたくなくなった。というわけで、中学生のときの私は全く寛容でなかった。

アシュラムの友の平均年齢は70歳である。よって、ここまで長々と書いてきた「ポケット

モンスター」の話は、まるっきり「どうでもいいこと」に違いない。でも、おそらく、怒っていたことを後から振り返ると、本当にちっぽけで、どうしようもなく、些細なことだったりするのではないか。怒っている相手も「ついうっかり」ミスをしてしまったのかもしれないし、自分だってよくしている。自分の思い通りにならない人や出来事に怒りを向けたとして、明日のご飯が食べられなくなるわけでもないし、山は崩れ、海は枯れるわけでもない。

「寛容な心を持つことができますように」。これは今年の年頭アシュラムでの自分の祈りの課題である。この甲斐あってか、少しずつ落ちてきてきたような気がしている。聖書によれば、人はついうっかりして救い主であるイエス・キリストを殺してしまった。そんなうっかり者の私達でさえ許されているのだから、寛容にならない理由はどこにもない。

しかし、こうやって寛容になる努力をしていると、「寛容でない人に対して寛容でない」という自分に気がつく。「自分が我慢してるのに、なんであいつは怒りをぶちまけてるんだろう。我慢している自分がアホみたいじゃないか」という具合である。どこまでいっても「寛容」というのは難しい。

先日、修道場に旧友が訪ねてきてくれた。昔話をしていると、「一緒に旅行に行ったら険悪なムードになった」と言い出した。筆者がその理由を尋ねると、彼曰く「僕がお茶を買ったら、君が『なんでそんな香料の入ったお茶を買うんだ!』って怒るから」ということである。どうやら祈りの課題は、来年も変わらなさそうだ。



国際正義平和アシュラムに
出発前。皆で早天祈祷会。
マヘンドラ師（インド）も
共に

あとがき

国際正義平和アシュラムと榎本保郎牧師召天40周年記念会を、無事終えることができました。本当に感謝である。記念講演の中で、森下辰衛氏が、今回出版された「聴くこと祈ること」に触れてくださり、榎本保郎牧師最後の言葉の後の余白こそ、これからの私たちの答えを書かなければならないと話された。「死ぬことは文句を言わなくなる。神様にゆだねる」と。40年の時を超えたちいるば牧師の絶筆に答えていくものとなりた

（恵）



和子母 92才感謝

11月の聖書教室など	
3(金)	阪神ミニアシュラム(主恩教会 PM1:00)
13(月)	福岡聖書教室(博多クリオコートホテル PM1:30)
15(水)	カフェちいろば聖書入門講座(京都・伏見区深草 PM1:30)
16(木)	常任運営委員会(アシュラムセンター)
17(金)	センター聖書教室(アシュラムセンター AM11:00)
19(日)	ちいろば牧師記念チャペル夕礼拝・愛餐会(PM5:00)
21(火)	大阪聖書教室(大阪クリスチャンセンター AM10:30)
27(月)	静岡聖書教室(旧・英和女学院宣教師館 PM2:00)
28(火)	東京聖書教室(御茶ノ水クリスチャンセンター 4F AM10:30)
28(火)	桜美林リトリートアシュラム(桜美林大学冠冠 PM2:30)

11月のアシュラムなど	
6(月)~7(火)	第38回 札幌アシュラム 奉仕者 櫻本恵師 011-561-7951 吉田すみよ姉
21(火)~23(木)	第42回 京浜アシュラム 奉仕者 村瀬俊夫師 042-373-2577 本田英一師
23(木)~25(土)	第41回 阪神アシュラム(母の家ベテル) 奉仕者 櫻本恵師 0748-33-4030 アシュラムセンター

12月以降のアシュラム予定	
12月7日(木)	第7回 合同平和祈禱会・愛餐会 キャロル・サックさん 癒しのハーブ・コンサート
★ 12月9日(土)	合同聖書教室(アシュラムセンター AM11:00) クリスマス祝会・愛餐会(アナナ祈りの家) カフェちいろば大山謙一シェフの手料理!
1月25日(木)~27(土)	第42回 年頭アシュラム(関西セミナーハウス) (詳細 案内は次号)
2月21日(火)~23(木)	台湾愛修会・第15回 国際正義平和アシュラム ツアー募集 (詳細 案内は次号)

みことば

日本キリスト教団
西川口教会牧師(埼玉)

金田 佐久子

「主イエスに聴く

マタイ福音書第6章より」

(7) 10節 神の御心

「御心が行われますように、天におけるように地の上にも」。詩編第135篇6節には「天において、地において・・・主は何事をも御旨のままに行われる」とあり、箴言第19章21節には「人の心には多くの計らいがある。主の御旨のみが実現する」とあります。父なる神は、天地万物を造り、歴史を支配しておられる。人が祈っても祈らなくても(もちろん祈りは聞かれています)、神は自由に御心を行われ、御心以外のことはおできにならない。ですから、主イエスがこう祈れと言われたのは、神のためではなく「その人自身のため」ではないでしょうか。「地の上にも」とは、誰かではなく、まず「このわたしに」ではないでしょうか。自分を抜きにして「御心が行われますように」と祈ってはいないでしょうか。主イエスの祈りのお姿から問われる思いがするのです。ゲツセマネの祈りです。主イエスは死ぬほどの悲しみの中で、立って祈ることもできずうつ伏せになって、父なる神に祈られました。「父よ、できることなら、この杯をわたしから過ぎ去らせてください。しかし、わたしの願いどおりではなく、御心のままに」(マタイ26:39)。更に「父よ、わたしが飲まないかぎりこの杯が過ぎ去らないのでしたら、あなたの御心が行われますように」(マタイ26:42)と祈られました。こうして御心にご自身を服従させられました。この主イエスから「御心が行われますように」との祈りを受けられているのです。

クリスマス献金のお願い

日々、アシュラムセンターの働きのために、お祈り下さり、ご献金をおささげ下さり、ありがとうございます。

主と、主につながる皆様のお支えに深く感謝し、センター一同、みことばに聴きつつ、主の御用に励みたいと思います。

恵主幹牧師からの依頼文書は次号、改めて掲載させていただきます。どうぞよろしくお願ひいたします。

櫻本保郎牧師 新約 一日一章
FEBC ラジオ・インターネットで配信中!



☆『日々の聖句 2018』☆

長い間、和子母が受注・発送窓口でしたが、今年からは直接出版元へご注文下さいませようお願い申し上げます。

申し込み お問い合わせ先

ベテスタ奉仕女母の家 出版部

電話 03-3924-2238 Fax 03-3921-4962

